所属：高知工業高等専門学校　ソーシャルデザイン工学科

研究タイトル：東南アジアにおける建築環境設計に関する研究



氏名：	木村　竜士／KIMURA　Ryushi	E-mail：	kimura@ce.kochi-ct.ac.jp
職名：	准教授	学位：	博士(工学)，修士(政治学)
所属学会・協会：	日本建築学会、計測自動制御学会、バーチャルリアリティ学会、人工知能学会 農業情報学会		
キーワード：	東南アジア ／ 環境配慮型建物 ／ 室内環境計測		
技術相談 提供可能技術：	・建物の熱負荷計算に関する技術相談 ・熱的快適性の計測に関する技術相談 ・東南アジアにおける環境配慮型建物に関する共同・受託研究		

研究内容：

◆研究概要

経済成長の著しい東南アジア諸国、特にインドネシアを対象として、環境配慮型の住宅を提案・普及することを目的とする。提案にあたって、建築技術者の技能レベル・経済・建築材料や調達を考慮したライフサイクルアセスメントを行い、実現可能な建物の普及を目指す。

◆研究テーマと成果の例

(1)東南アジアを対象とした環境配慮型建物の普及に関する研究

東南アジアにおいて、現地の経済的・技術的・環境的実現性を考慮した環境配慮型建物の普及を研究するに当たり、初期段階として、現地技術者の技能レベルや住宅購買層の経済的状況や環境意識を把握する必要がある。そこで現在は、共同研究実施機関であるインドネシア・アンダラス大学の研究者に協力をいただき、パダン市における室内環境に関する意識調査を行っている。



図１　インドネシアで一般的に普及している住宅

(2)地域計量経済モデルを利用した都市分析

将来的に日本が人口減少、少子高齢化社会となる中で、外国人労働者への労働資本の協力が期待されている。そこで本研究では、地域計量経済モデルにより建設業に携わる外国人労働者の経済効果を評価することを目的としている。研究初期段階として、国家間で技術移転を目的としている技能実習生制度の実習実施内容を把握する。

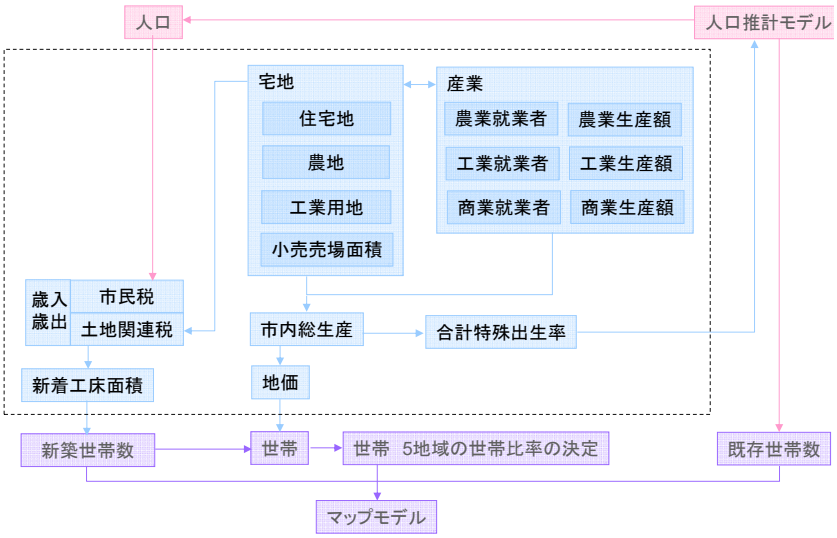


図２　計量経済モデルの基本的な構成